

# 10月 イチゴ 栽培管理 (2022)

アグリ技研 (株)

日	生育期	肥培管理
1日		<p><b>2果房対策には日中下温での遮光資材</b></p> <p>品種により腋果房対策で定期的にPKや珪酸を施肥します。<b>「PKゴー2000倍の葉面散布」</b>や<b>「シリカ水1000倍」</b> (2果房対策)</p>
2日		
3日		
4日		
5日		
6日		
7日		
8日	<p><b>生殖成長期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発根促進に<b>「アミクエ」</b>5~7日置き5~10kg灌水処理。</li> <li>・普通栽培で生育促進に<b>「ウルル5・7号」</b>7日置き5~10kgの灌水処理又は<b>500倍</b>での葉面散布。</li> <li>・2果房分化対策に<b>「PKゴー2000倍」</b>葉面散布。</li> </ul>	
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		
14日		<p><b>2果房対策には日中下温での遮光資材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2果房分化確認とマルチ前の追肥に<b>「味太郎」</b>2~3袋</li> <li>・マルチ後には発根促進・肥料吸収向上に<b>「アミクエ」</b>5kgの灌水処理。</li> <li>・<u>17~20日前後は防除適期になります。</u></li> </ul>
15日		
16日		
17日		
18日		
19日		
20日		
21日		
22日		
23日	<p><b>栄養成長期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニール被覆は外気温15~17°C前後で被覆しましょう。極端に早い被覆は徒長や花芽分化果実肥大に影響します。</li> <li>・草勢強や徒長生育には<b>「PKゴー2000倍」</b>の葉面散布。</li> <li>・<u>25~28日前後は防除適期になります。</u></li> </ul>	
24日		
25日		
26日		
27日		
28日		
29日		
30日		
31日		
<b>ポイント</b>	<p>中旬は品種や作型により、2果房（腋果房）分化時期になりますので連続収穫するためには上旬から中旬の生育コントロールが必要になりますので肥料や灌水調整は十分に行いましょう。</p>	